SDGsプログラムの活用を

徳島県・美馬市・三好市・つるぎ町・東みよし町

ESD・若者のためのSDGs実践現場
〝日本一の田舎〟そらの郷

四国、徳島県の西部「そらの郷」は、四国の中央に位置するにし阿波（美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町）エリアです。大歩危・祖谷や吉野川に代表される自然、歴史文化、伝説や伝承、さらに独特の食文化、伝統芸能に彩られた全国屈指の観光地域であると共に、素朴で温かみのある古き良き暮らしが今もなお息づいています。

老舗「そらの郷山里物語」のアップデート

民泊26年の歴史、地域内約180軒、同時受け入れ人数約600人。そらの郷の民泊家庭は、その多くが山腹の急傾斜地に、張り付くように形成される集落に存在し、特有の文化的景観を形成しています。山畑のコエグロ、石積み、人家などが、一つとなった傾斜地における自然共生の風景こそが「日本一の田舎」や「桃源郷」とも称される、日本の原風景です。

生徒たちは家族の一員として迎えられ、茶摘みやタマネギ、ジャガイモ、雑穀の収穫など、少量多品種の自給的農業を協働します。収穫した旬の野菜や山菜を使って田舎料理を共同調理、家族団欒（だんらん）の食事で心の交流。高度な土地利用が成す、エシカル農業ライフや、生物多様性を補完し貧困問題の解決に寄与するサスティナブル農法など、各種SDGsコンテンツの実践体験によって〝日本一〟の厳しさを豊かさに変える暮らしを学びます。

そらの郷は「地方創生の成功事例」といわれ、2016年、農林水産大臣から「食と農の景勝地」の認定。18年、国連食糧農業機関（FAO）から「世界農業遺産（GIAHS）」の認定。20年には、第17回オーライ！ニッポン大賞「内閣総理大臣賞」を受賞しています。また、SDGsの実践現場として、ESD（Education for Sustainable Development）のSDGs－PBL×STEAMプログラムでは、地元高校生とフィールドワークなどを取り組む地域推進拠点に登録されており、「PBL（課題解決型学習）×STEAMプログラム」を実施しています。各校のテーマに沿って、フィールドワーク・WS、ディスカッションなどを組み立てる、ほんものSDGsアクティブラーニングです。コロナによるパラダイムシフト、そしてVUCAの時代に対し、社会に開かれた教育現場「日本一の田舎」として、未来を変える若者を育成します。

なお、withコロナの民泊受け入れが功を奏し、民泊HACCP衛生管理を導入するなど、品質のアップデートに成功しました。全ての民泊家庭やインストラクターは、研修や安全衛生講習を受け、危機管理や安全対策に関する万全の体制を整えています。

民泊阿波おどり＝集落のにぎわいとして、念仏踊・風流踊の阿波おどりが継承されてきました。過酷な農業疲れを吹き飛ばす芸能娯楽。離村式では輪踊りで再開を誓い門出を祝います。農文化継承のSDGs特別プログラムも実施中。

吉野川ラフティング＝日本三大暴れ川、吉野川は世界クラスのラフティングコース。2017年、日本初の世界選手権を開催。荒々しく雄大な流れが山並みを深い渓谷で刻み、厳かで美しい景観を創り上げています。仲間とボートを操り、激流を乗り越え、五感で大自然と対峙（たいじ）します。

吉野川パークゴルフ＝多世代交流型のスポーツを介し、河川環境マインドや心身の健全な成長を促し、社会的コミュニケーション能力を身につけます。

世界が認めるウォータースポーツフィールド

傾斜地に点在する集落「天空の里」で田舎暮らしを体験

Withコロナの農業体験・農文化学習。エシカル農業の知恵を学ぶ

一般社団法人 そらの郷
〒778-0005 徳島県三好市池田町シマ995-1
TEL 0883-76-0713　FAX 0883-72-0753
E-mail:sora@cn05.awaikeda.net
URL https://nishi-awa.jp/soranosato/
営業時間　平日8：30～17：15
※内容のお問い合わせは事務局・松浦までお願いします

高知県・四万十・足摺エリア

「主体的・対話で深い学び」でSDGs考える
日本最後の清流を体験

四国の西南部に位置する高知県の四万十・足摺（幡多）地域は、日本最後の清流といわれている「四万十川」を中心に「足摺岬」など山、川、海と多様な自然環境に恵まれた地域です。この豊かな自然環境を生かしたさまざまな体験プログラムを商品化しており、全国に誇れる自然体験型観光の先進地を目指しております。

SDGs学習プログラム

自然豊かな幡多地域で、「主体的・対話的で深い学び」を通して、持続可能な社会を未来につなぐために、自分たちは主体的に何ができるかを考えます。

体験プログラム

体験プログラムは、「何にもないのに、なんでもある」をキーワードに豊かな自然が残っている田舎だからこそできる体験を中心に、食、文化、漁業、農林業など100種類を超える体験プログラムを提供しております。

田舎暮らし体験

特に大都市圏の学校から高い評価を得ているのは、一般の農山漁村家庭の〝ありのままの暮らし〟を体験できる「田舎暮らし体験」です。現在、受け入れ家庭数は80軒を超え、1日最大300人程度の受け入れが可能となっています。山、川、海に恵まれたこの地域では、自然を知り、触れ合うことで自然とともに生きる力を養うことができます。

カツオのわら焼きタタキづくり体験

高知の食文化の代表でもあり、一番人気です。漁師のおじさん、おばさんがインストラクターとなり、生徒自らがカツオ1本を丸ごとさばいてわらで焼き、タタキを作って食べます。この体験によりカツオ漁の歴史や高知の食文化などを感じ、食材への感謝の気持ちを育むとともに、魚嫌いの生徒も自然と食べることができるようになります。

四万十川カヌー体験

初心者でも安全かつ気軽に体験できます。カヌーから見る自然景観は、日本の原風景とも言えます。最後の清流、四万十川を見ることのできる貴重な体験となります。

防災学習

地震などの自然災害から身を守り、生きる力を育てるプログラムを用意しています。過去に起こった事例を学ぶのではなく、これから起こり得る近い将来の災害について自分たちがどのような行動ができるかを考え、一人一人の防災意識を高めるためのプログラムとなっております。

受け入れ態勢

受け入れ窓口の幡多広域観光協議会は、高知県と幡多6市町村（四万十市、宿毛市、土佐清水市、黒潮町、大月町、三原村）で組織し、四万十・足摺地域でしか体験できない豊かな自然、食、伝統文化、生活や人と人との心のつながりを生徒に感じていただける安全で信頼性の高い体験プログラムを提供できるよう、官民が一体となって取り組んでおります。

四万十川でのカヌー体験

生活体験では受け入れ家族と交流

人気が高い「カツオのわら焼きタタキづくり体験」

80軒を超える受け入れ家庭がある

一般社団法人　幡多広域観光協議会
〒787-0014　高知県四万十市駅前町15-16
TEL 0880-31-0233　FAX 0880-31-0660
E-mail:syuryo@hata-koiki.com
URL:https://www.hata-kochi.jp/

愛媛県・南予地域

南予でSDGsを自分ごと化
日本屈指の農林漁業営み体験

愛媛県南西部に位置する南予（なんよ）地域は、4市（宇和島市、八幡浜市、大洲市、西予市）、5町（内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町）からなり、海、山、川の自然に恵まれ、農林漁業の営みが盛んです。

温暖な気候に恵まれたリアス式海岸では、生産量日本一を誇るマダイやシマアジ、真珠などが養殖されています。また、日本農業遺産に認定された「愛媛・南予の柑橘（かんきつ）農業システム」は急傾斜地の段々畑が特徴で、壮大な景観とともに日本一の〝柑橘王国・愛媛〟の屋台骨を担っています。宇和島城や内子、大洲、宇和の古い町並みなど、歴史文化遺産も多く、日本一細長い佐田岬半島や四国西予ジオパーク、滑床や成川の渓谷など多様な自然環境を有しています。

■最大400人の受け入れが可能な民泊

南予地域では、豊かな自然と多様な農林漁業の営みを生かした教育旅行プログラムを提供しています。宇和島城や内子、大洲、宇和の古い町並みなど、歴史文化遺産も多く、日本一細長い佐田岬半島や四国西予ジオパーク、滑床や成川の渓谷など多様な自然環境を有しています。

■SDGsへの取り組み

2021年以降本格実施されている新学習指導要領では、主体的、対話的で深い学びの実現「アクティブラーニング」に関連付けた質の高い教育プログラムが求められています。

本協議会では、これまで島ならではの、豊かな自然を楽しむ自然体験などを提供してきましたが、これらの体験プログラムを生かしながら、新学習指導要領とSDGsを結びつけた体験プログラム構築に取り組んでいます。

一例として、五島市は、2013年に全国で初めて、浮体式洋上風力発電施設が設置されました。その後、本格的な運用について知見を深めるとともに、周辺海域や海洋生物、生活環境への影響調査を継続した結果、安全で環境への影響が小さい発電施設であることが確認されています。

このような海洋再生エネルギーと漁業との共生により、次世代につなげる持続可能な社会を目指した先進的な取り組みを現場で感じるプログラムを体験することで、具体的なSDGsを学ぶ機会になると期待しています。

その他にもカトリックの信仰の地として数多くの教会が点在し、世界文化遺産に登録された歴史的背景と関連付けた体験なども提供していく予定です。

今後、このような五島市ならではの課題発見・問題解決に結びつくプログラムを構築し、五島市でしか学ぶことのできない体験プログラムを提供することで、未来を創る子どもたちに深い学びを感じていただきたいです。

日本農業遺産に認定された柑橘農業システム

マダイの養殖えさやり体験

郷土料理づくり体験

船釣り体験

一般社団法人 八幡浜市ふるさと観光公社
〒796-8501 愛媛県八幡浜市北浜1-1-1
TEL 0894-22-0855　FAX 0894-22-5653
URL https://furusato-nanyo.com/

長崎県・五島市

「国境の離島」
SDGsを学ぶフィールド

九州の西の端、長崎から西に約100キロに位置し、11の有人島と52の無人島で構成される五島市。

古くは遣唐使の寄港地、海外貿易の拠点として栄え、またカトリック信仰の地として数多くの教会が点在し、さらに倭寇や空海の伝説が残り、城郭や武家屋敷など歴史文化遺産も豊富であることが五島市の魅力です。

■五島市体験交流協議会

五島市体験交流協議会では、豊かな自然と多様な農林漁業の営み、歴史や文化を生かした体験交流型教育旅行の受け入れを行っています。

「五島感動しま旅！」と銘打った一連のプログラムは、地域に暮らす人のなりわいや生活を一緒に体験したり、地域の自然や歴史をともに楽しんだりといったそこでしか味わえない、「ほんもの体験」にこだわっています。

現在は、市内全域で最大1100軒400人までの受け入れが可能となっています。

■SDGsへの取り組み

2021年以降本格実施されている新学習指導要領では、主体的、対話的で深い学びの実現「アクティブラーニング」による課題発見・問題解決型学習が重視されています。

また、「よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創る」という目標を共有するために、SDGsの目標や取り組みを関連付けた質の高い教育プログラムが求められています。

本協議会では、これまで島ならではの、豊かな自然を楽しむ自然体験などを提供してきましたが、これらの体験プログラムを生かしながら、新学習指導要領とSDGsを結びつけた体験プログラム構築に取り組んでいます。

一例として、五島市は、2013年に全国で初めて、浮体式洋上風力発電施設が設置されました。その後、本格的な運用について知見を深めるとともに、周辺海域や海洋生物、生活環境への影響調査を継続した結果、安全で環境への影響が小さい発電施設であることが確認されています。

このような海洋再生エネルギーと漁業との共生により、次世代につなげる持続可能な社会を目指した先進的な取り組みを現場で感じるプログラムを体験することで、具体的なSDGsを学ぶ機会になると期待しています。

その他にもカトリックの信仰の地として数多くの教会が点在し、世界文化遺産に登録された歴史的背景と関連付けた体験なども提供していく予定です。

今後、このような五島市ならではの課題発見・問題解決に結びつくプログラムを構築し、五島市でしか学ぶことのできない体験プログラムを提供することで、未来を創る子どもたちに深い学びを感じていただきたいです。

「釣りの聖地」で行う船釣り体験（市内全地区）

世界文化遺産　旧五輪教会堂（久賀島の集落）

浮体式洋上風力発電

五島市体験交流協議会
株式会社 JSH
（担当：松本 俊也）
つばきねこ
〒853-0005 長崎県五島市末広町3-4
TEL 0959-76-3600　FAX 0959-88-9346
URL https://www.goto-shimatabi.com/
Email:jsh-travel@jsh-japan.jp